

たまが和

多摩川分会新聞

2025年7月

第157号

熱中症に注意！

☆酷暑を乗り切ろう！☆

日中屋外で作業をすることが多い建設業は、全産業の中でも熱中症発症率が高い業種であるため、予防対策は必須となっています。

熱中症は、気温の他にも湿度や風向、熱の照射、作業内容（運動量）、作業員の体調など総合的な要因によって発症します。単に水分・塩分をしっかりと摂取すればよいとか、日頃の経験上からこの暑さなら大丈夫、などと安易に考えず、万全の予防対策を立てましょう。



これだけは、押さえておきたい 熱中症の予防ポイント！

危険

- ・梅雨明けの暑くなり始めの時（暑さに慣れていない時）
- ・湿度が高い時
- ・前日飲酒または睡眠不足の人
- ・糖尿病、心疾患などの持病を持っている人

対処

- ・熱中症は自覚されにくいので、みんなで声をかけあう
- ・症状が軽くても、早めに病院へ
- ・塩（塩分のあるもの）を作業場に常備

お知らせ

来月の予定

- 8月 8日（金）・・・6役会議
 - 8月12日（火）・・・分執会議
 - 8月19日（火）・・・集約会議
- ☆群会議の日程は各群長まで

東京土建で検診を！

「健康診断？会社で受けているよ」という声がよく聞かれます。会社で受診していても、東京土建の提携医療機関で検診を受診してください。被保険者であれば、奥さんやお子さん（19歳以上）も一緒に受診できます。オプション以外は費用も掛かりません。アスベスト専門医師によるレントゲンの再読影もあります。

東京土建の健康診査を受診率を上げないと将来、保険料がもつと上がる可能性があります。（ちなみに大田支部の受診率はかなり低い）検診を複数回受けても悪いことはありません。是非、家族で検診を受診してください。